

高業績で高額納税企業に江口組がランクインをしました。社員も60名で一番良い状態のタイミングだったのですが、そこから公共工事が減っていき売上が下がっていったのです。

とどめを刺したのが2009年民主党政権になった時です。「コンクリートから人へ」のメッセージで様々な公共工事が凍結され、予算削減され、売上が半分に、この会社には未来がないと多くの社員が辞めていきました。公共工事というものは国や市町村といった自治体の政策によつて大きく左右されてしまうもので、ある意味特殊な世界です。B to Cの仕事であればお客様をどう喜ばせるのか？といった心遣いがすごく重要なのですが、公共工事の場合そういったサービス精神みたいな考えがそもそもありません。極端な話をいえば、別に営業をしなくても入札で勝てば仕事は入ってきますし、情報発信して繋がりを創つていこうという概念はそもそもありません。でも存在を忘れられたらまずいので、担当者のところにとにかく足しげく通う。クリエイション江口で営業したときも同じでした、この住宅営業もとにかくお客様のところに足しげく通うのが美德とされていました。見学会にきた方の家にはその日の晩必ず行き、翌朝早くに再度行く。まさに夜討ち朝駆けが常識。でもお客様の立場にしたら迷惑じゃないですか？ 業界の常識かもしれないけど、やられたほうはたまらない。私なら嫌です。だからやめました。その代わりにDMやSNSを使つて情報発信す

るようにしました。父からはなぜ営業にいないのか大反対されましたが、自分がされて嫌なことは絶対にしたくなかったので頑なにせず、とにかく情報発信で緩やかに関係性をつくることだけを考えて実践していたら、半年で二棟売れました。その時に「価値が伝わる楽しさ」や自分でチャレンジしたことが形になる喜びを感じ、少し自信が生まれてきました。

政権が変わることで風向きも変わり徐々に数字も戻り始めました。そして2016年40歳の6月、決算直前のタイミングで父に呼ばれ2つ話をされました。1つ目が「来期から社長をしないさい」2つ目が「ただし3年は今のやり方を変えないこと」。もう少し先だと思っていたので、正直驚きましたが受けることにしました。そしていきなり色々と変えるのも社員さんたちが混乱するので、それも理解し社長に就任しました。そして3年経ちいろいろな改革をしようとなると、会長である父が悉く反対するのです。業務の進め方や人事のこと、変えようとするあらゆることです。反対理由は「自分の価値観にないのでよくわからない」。クリエイション江口でSNSを反対された時と同じです。とはいえ父は変化を嫌うわけではなく、自分自身もいろいろな改革をしてきた結果で今の江口組があるのはよくわかっているのですが、頭で分かるのと納得できるのは違うのでしょうか。まったく意見がかみ合わない日々が続きました。しかし経験を積み中で自分に自信が生まれできたことや、いま時代が激変しているな

かで会社も新しい価値観を持ちアップデートさせていかねばならないという強い想いが私を突き動かしていきました。

小松の人たちの 安心安全な 暮らしを守りたい

うちの奥さんは高校の同級生で、たまに江口組の前を歩いていたらしいのですが、名前を見てヤバイ事務所だと思っていたらしいです(笑)。それに土木業は昔でいう「きつい・汚い・危険」の3Kでイメージもあまり良くありません。だから担い手が減っているのが現状なのです。私の時は土木学科には200名ほどいたのですが今では40〜50名。土木学科だと人が集まらないので、環境都市学科みたいな名前に変える学校もあるようなのですが、ここをなんとかしたい。何故なら世の中に絶対に必要な仕事だからです。地震や災害からみんなの命も暮らしも守り、世の中のお役に立つことが出来ているのに、勝手につけられた悪いイメージですごく損をしている。だからこの土木業の素晴らしさや、江口組の目的とか使命とかい로운なことを伝えたいなと思い、T i k T o kやY o u T u b eなどの情報発信はめちゃくちゃ頑張っています。そういう様々な発信を続けていると感謝や激励のコメントがすごく増えてきたので手応えを感じ始めています。

自分の使命つて「まちづくり」と「ひとづくり」なのかなと感じるのです。江口組の跡継ぎとして生まれ、自分も育ったこの小松の

人たちの安心安全な暮らしを守りたい。そこに一つの想いが生まれてきました。それは江口組にご縁があつて集まってくれた方が喜びや成長を感じてくれる場にしたい。私自身は働き方改革とかはあまり賛成ではありません。もちろん残業しているのに残業代払わないとか、心身ともにおかしくなるまで働くのはちよつと違うと思いますが、一生懸命働くことで自分の成長につながる部分がすごくあるからです。私自身も仕事がお金を稼ぐ手段から生きがいに変わつてきました。あまり数字で制限してしまうのはどうなのかなと思うこともあります。だから社員一人一人の成長をどうサポートするのかをずっと考えています。社員が成長するためには、会社も成長しないといけない。だから私自身も変化を厭いません。人間的な魅力があつたり、下の人たちが憧れられるようなそんな大人が増えるといいなと思うのです。○○さんのようになりたいとか、○○さんがいるから一緒にやりたいとか、そんな風に思えるのつてすごく素敵ですよ。そして成長した社員が家族の元に戻ったり、地元の町内会とかPTAとかいろいろなコミュニティで輝いたら、結果、街や地域が発展していく。そんなお手伝いをしていきたいですね。



6.江口さんの考えに共感することだけで大ファンになりました 7.自然と人を味方にする優しい笑顔が印象的でした

「まちづくり」と「ひとづくり」。これこそが私の使命